

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成24年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造 株式会社
指定期間	平成24年4月1日から 平成27年3月31日まで	担当課	観光商工課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	361	181	50.1%	
	延べ利用者数 (人)	464,500	246,213	53.0%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—%	
		使用料収入(売上) (円)	364,064,500	192,983,496	53.0%
		自主事業収入 (円)	—	—	—%
		その他の収入 (円)	17,063,000	10,897,947	63.9%
	収入計 (円)		381,127,500	203,881,443	53.5%
	支出	人件費 (円)	143,114,000	70,942,323	49.6%
		維持管理経費 (円)	122,690,000	54,095,081	44.1%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	106,123,500	56,787,034	53.5%
	支出計 (円)		371,927,500	181,824,438	48.9%
収支 (収入－支出) (円)		9,200,000	22,057,005		

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 開館日については、2日間の休館日を除き181日開館。 利用者については、計画を達成(市民無料招待者8,747人を含む)。	<b>【事業の実施状況について】</b> 温泉棟内縁側ギャラリーにて、クリスマスツリーや写真展示などの事業を実施した。	<b>【収支状況について】</b> 上半期として、収入はほぼ計画通りであるが、支出の減少により収支は良好。
---	--	--

### 所管課の評価 (指摘事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 利用者数については、市民無料招待者を含め、前年比とほぼ同様であった。	<b>【事業の実施状況について】</b> 各種事業を実施し、誘客を図っている。	<b>【収支状況について】</b> 収支状況は良好である。
--	--	----------------------------------

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	85人 人員配置計画	81人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 1回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30% 人員配置計画	42.0% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>利用者数及び収支状況については、概ね事業計画どおりであり、今後も継続的に利用者数の増加に向けたPR活動等に努める。</p> <p>人員配置・人材育成等については、現在のところ事業計画書どおりの人員配置が達成されていないため、引続き職員の確保に努める。また、パート・嘱託員に関する就業規則の一部について、見直しを行う。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>利用者数については前年比とほぼ同様であるが、市民無料招待者数を考慮すると、より一層の集客に努める必要がある。また、事業計画書に基づく職員の適正な配置及びパート・嘱託員に関する就業規則の一部について、見直しを行うよう指導した。</p>